



校長室だより

八代市立八代小学校
校長 村嶋 博史

学校教育目標「自ら学ぶ子供」

R4,6,27 No,10

第1回コミュニティ・スクール運営協議会を行いました

6月15日(水)10時から、八代コミュニティセンターにて、「第1回八代小学校コミュニティ・スクール運営協議会」を行いました。本コミュニティ・スクールは、昨年度までの熊本県版から、今年度より国版へ移行しました。

運営協議会では、会長の森様をはじめ、15名の委員の皆様にご出席いただき、国版コミュニティ・スクールに係る概要説明や委嘱状の交付をさせていただきました。その後、今年度の本校の教育方針などをご説明させていただき、意見交換を通して、ご承認いただきました。

今後も「地域と共にある学校」「社会総掛かりでの子育て」の実現に向け、運営協議会の委員様とともに進めていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

※国版コミュニティ・スクールの概要については、裏面をご参照ください

子供たちの命を守ります ～応急手当について学びました～

6月15日(水)、体育館にて、全教員参加のもと、「応急手当」(心肺蘇生法とAEDの使用法)に係る研修を行いました。これは、水遊びや水泳の学習が始める前に行ったものです。

「熊本県水難事故防止セミナー」に参加した教諭の指導の下、動画視聴及び関係機関から借用した器具を使用した実技に取り組みました。参加者全員、緊張感漂う中、真剣な表情で取り組んでいました。



「心の絆を深める月間」 ～見ることの難しさ～

6月を「心の絆を深める月間」と位置づけ、「みんなが楽しいと感じる学校づくり」を学校総体で行っているところです。主な内容としては、以前お知らせしました児童アンケートを基にした全児童との教育相談や全校朝会による校長講話などです。

校長講話は、6月20日(月)の始業前の時間にオンラインで行いました。内容は、人は普段色々なものを見ているようで実はあまり見ていない、注意して見ないとよく分からないものであるという「見ることの難しさ」について、子供たちが普段からよく見ているものを例に挙げて話しました。そして、これは、いじめについても同じで、注意して見ないといじめが起きていることに気づかないものであるため、これからは周りを注意してみて、いじめに気づいてほしい。そして、八代小からいじめを無くそうと話しました。この内容は、5月にとった児童アンケートで、いじめを見たり聞いたりした子供の割合が9%だったことから取り上げました。

学校ホームページも是非ご覧ください。 「八代小学校」で検索